第７章　産業廃棄物

第１節　産業廃棄物の排出・処理状況

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃プラスチック等の 20 種類のものをいいます。このうち、爆発性、毒性、感染性などにより、人の健康及び生活環境に被害を及ぼすおそれのある産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物として定められています。

これらの産業廃棄物は、排出した事業者が自らの責任において、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に定める基準に従い処理しなければなりません。また、その処理を他人に委託する場合は、廃棄物処理法上の許可を有する業者に委託しなければなりません。

１　種類別排出量・割合

平成 29 年度に市内の主な事業場等が排出した産業廃棄物の量は 31.7 万トンです。

排出量を産業廃棄物の種類別に見ると、最も多い汚泥が 15.7 万トンで全体の 49%を占め、以下、ばいじん 5.4 万トン（17%）、がれき類 4.4 万トン（14%）と続き、これら３種類が全体の 81%を占めています。

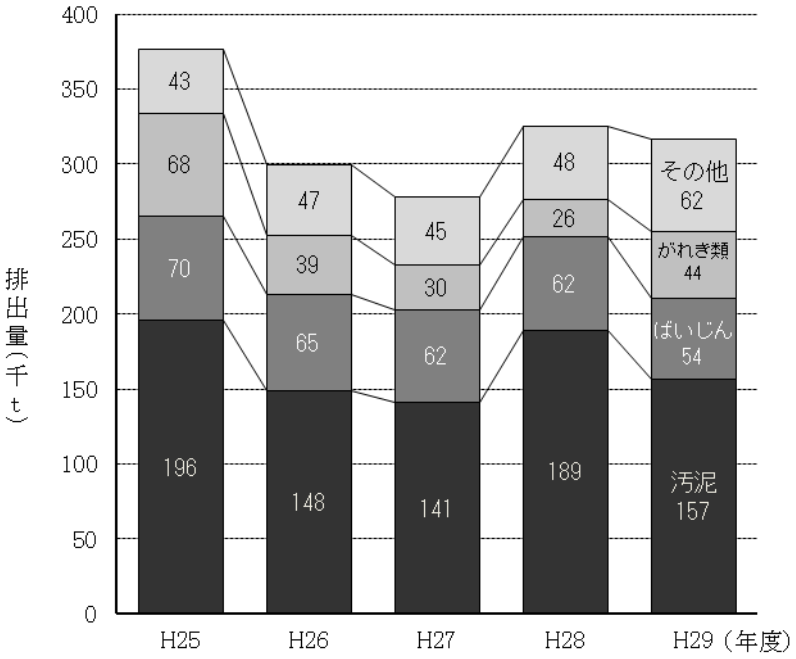

図7-1-1　排出量の推移

２　種類別処理実績

排出された産業廃棄物 31.7 万トンのうち、汚泥の 10.2 万トンは排出事業者が自ら中間処理（汚泥の脱水）し、減量化及び再生利用されています。処理業者に処理委託される量は、埋立（最終処分）が 1.6 万トンで、破砕、焼却などの中間処理が 18.7 万トンです。中間処理のうち再生利用業者への委託が 12.8 万トンで、中間処理全体の 69%を占めています。

表7-1-1 産業廃棄物の種類別排出量と処理実績 ※1　　（単位：ｔ）

廃棄物の種類	排出量	保管量	有価売却	自社中間処理	自社処理後再生利用	委託処理				
						計	埋立	中間処理		
								市内	市外	内再生利用※3
1 燃え殻	12,533					12,533	3,699		8,834	8,444
2 汚泥※2	153,190		8,845	102,297	347	48,623	5,911	28,063	14,649	15,014
3 廃油	1,105		24			1,081		9	1,072	522
4 廃酸	94					94			94	37
5 廃アルカリ	15,182					15,182		1	15,181	9
6 廃プラスチック類	1,901		310		314	1,591	47	771	773	435
7 紙くず	356		310			64		17	46	35
8 木くず	3,679					3,679	15	3,246	419	3,508
9 繊維くず	16					16		3	13	9
10 動植物性残さ	620		579		70	41			41	30
11 動物系固形不要物										
12 ゴムくず										
13 金属くず	6,375		6,032		4	343		121	223	284
14 ガラスくず等	5,923	1,450	21			4,452	1,151	1,749	1,552	2,632
15 鉱さい	4,500					4,500		126	4,374	4,500
16 がれき類	44,364		827			43,537	13	29,104	14,420	42,240
17 動物のふん尿										
18 動物の死体										
19 ばいじん	54,155					54,155	5,561	5	48,589	48,594
20 13号廃棄物										
21 混合物	1,448					1,448	85	1,230	132	27
22 特管廃油	2,598					3,495			3,495	1,747
23 特管廃酸	4,859		114			4,745			4,745	
24 特管廃アルカリ	418					418			418	
25 特管感染性廃棄物	0					0			0	
26 特管廃ＰＣＢ等	59					59			59	
27 特管ＰＣＢ汚染物	0					0			0	
28 特管ＰＣＢ処理物										
29 特管指定下水汚泥										
30 特管鉱さい										
31 特管廃石綿等	1					1	1			
32 特管ばいじん										
33 特管燃え殻										
34 特管廃油	0					0			0	
35 特管汚泥	3,359					3,359			3,359	87
36 特管廃酸	49					49			49	48
37 特管廃アルカリ										
38 特管物処理物										
39 特管混合物										
合　　計	316,785	1,450	17,063	102,297	735	203,465	16,484	64,445	122,536	128,205

※1 産業廃棄物発生量の多い市内の企業と建設工事の集計　　（平成29年度実績）

※2 汚泥発生量の把握時点は以下のとおり

①製品の生産工程中に脱水・乾燥工程が含まれている場合：その脱水・乾燥工程の後の重量

②廃棄物の処理を目的とした汚泥の脱水・乾燥施設である場合：脱水・乾燥前の重量

③施設から脱水・乾燥等の工程を経ずに発生する場合：発生時点での重量

※3 中間処理のうち、処理後再生利用を行う処理業者への委託量

第２節　産業廃棄物処理施設

事業者が産業廃棄物を処理する最終処分場（埋立処分場）及び一定規模以上の中間処理施設を設置する場合は、市の許可が必要です。

１　処理施設の種類と設置数

平成 30 年３月 31 日現在、産業廃棄物処理施設の設置許可数は 73（最終処分場９、中間処理施設 64）です(**表 7-2-1**)。

平成 29 年度は、木くず又はがれき類の破砕施設の新規許可が４件、廃止が２件で、廃プラスチック類の破砕施設の廃止が１件でした。

表7-2-1　産業廃棄物処理施設設置許可数

施設の種類		設置許可数
汚泥	脱水施設（移動式）	4
	脱水施設（固定式）	4
	焼却施設	2
廃油	油水分離施設	1
	焼却施設	1
廃プラスチック類	破砕施設（移動式）	1
	破砕施設（固定式）	12
	焼却施設	2
木くず又はがれき類	破砕施設（移動式）	17
	破砕施設（固定式）	18
産業廃棄物（汚泥、廃油、廃プラ類を除く）	焼却施設	2
最終処分場	遮断型	1
	安定型	3
	管理型	5
合　計		73

（平成30年３月31日現在）

２　処理施設の処理実績

平成 29 年度の市内の産業廃棄物処理施設による産業廃棄物の処理実績は以下のとおりです。

表7-2-2　最終処分場処分実績

最終処分場				処分実績	
種類	設置事業所	埋立面積 (m²)	埋立容量 (m³)	処分量 (m³)	残存容量 (m³)
遮断型	三井金属鉱業㈱ 三池事務所	945	4,620	0	1,655
安定型	三西開発㈱	15,262	17,613	0	13,494
	三西開発㈱	1,000	5,400	0	3,239
	㈱クリーンアトラス	11,289	90,000	0	0
管理型	三西開発㈱	39,112	571,000	7,798	391,521
	三西開発㈱	65,900	233,130	0	3,332
	三西開発㈱	15,600	68,279	0	1,798
	三西開発㈱	9,108	78,000	0	2,145
	デンカ㈱	176,000	616,000	0	1,231
合　計		334,216	1,684,042	7,798	418,415

（平成29年度実績）

表7-2-3　中間処理施設の処理実績

設置事業所	施設名称	許可番号	処理能力	処理実績（t）					
				汚泥	廃油	廃プラ類	木くず	がれき類	産業廃棄物※
㈱磯部	破砕施設（移動式）	産施19号	432ｔ/日					0	
		産施38号	1,400ｔ/日					0	
		産施64号	1,400ｔ/日					0	
㈲岩藤清掃	脱水施設（移動式）	産施14号	40㎥/日	0					
		産施25号	144㎥/日	0					
㈱大潮	破砕施設	産施63号	53.7ｔ/日				631		
オーム乳業㈱	脱水施設	産施7号	12.98㎥/日	14,058					
㈱環境施設	脱水施設（移動式）	産施9号	47.6㎥/日	0					
	破砕施設（移動式）	産施29号	1,320ｔ/日					0	
		産施30号	112ｔ/日				0		
喜楽鉱業㈱	油水分離施設	産施10号	134.4㎥/日		7,081				
㈱九州バイオテック	破砕施設	産施54号	30ｔ/日			0			
			268t/日				0		
		産施55号	10t/日			0			
			61t/日				0		
		産施56号	314ｔ/日			0			
			493ｔ/日				12,538		
		産施59号	253ｔ/日						
		産施57号	226ｔ/日			0			
			355ｔ/日				0		
			954ｔ/日					0	
		産施58号	161ｔ/日			0			
			253ｔ/日				0		
		産施59号	161ｔ/日			0			
共栄環境開発㈱	脱水施設（移動式）	産施3号	72㎥/日	0					
㈱共生	破砕施設（移動式）	産施52号	1,040ｔ/日					0	
		産施60号	680ｔ/日					0	
㈱協和工業	破砕施設（移動式）	産施37号	1,080ｔ/日					0	
㈱建光	破砕施設（移動式）	みなし	1,440ｔ/日					0	
三新興産㈱	破砕施設	みなし	640ｔ/日					48,391	
三西開発㈱	脱水施設	産施21号	209.76㎥/日	8,402					
		産施44号	180㎥/日	16,678					
	焼却施設	産施45号	95.1ｔ/日	1,787					
			16.4ｔ/日			6			
			34.4ｔ/日						0
柴田産業㈱	破砕施設	産施46号	118.8t/日			125			
			186.7ｔ/日				152		
		産施47号	3.6ｔ/日			0			
			15.3ｔ/日					388	
		産施49号	40t/日			0			
			63ｔ/日				0		
			169.6ｔ/日					0	
		産施51号	119ｔ/日			54			
			187ｔ/日				0		
大建工業㈱	破砕施設（移動式）	産施35号	680ｔ/日					0	
ダイスタージャパン㈱	脱水施設	産施24号	85㎥/日	3,364					
大東商事㈱	破砕施設（移動式）	産施23号	9.16ｔ/日			0			
			7.64ｔ/日				0		
㈲高野環境	破砕施設	産施36号	96ｔ/日			7,519			
			151.2ｔ/日				48		
㈱東洋ビルド	破砕施設（移動式）	産施18号	1,320ｔ/日					0	
㈲徳重産業	破砕施設	産施42号	308ｔ/日			0			
			308ｔ/日				2,918		
㈱中尾産業	破砕施設（移動式）	みなし	680ｔ/日					0	
日本コークス工業㈱	焼却施設	産施8号	61ｔ/日	19,770					
			61ｔ/日		0				
			61ｔ/日			0			
			61ｔ/日						1,068
㈱文田建設	破砕施設	産施61号	304ｔ/日					770	
		産施62号	616ｔ/日					1,541	
ホクザイ運輸㈱	破砕施設（移動式）	みなし	120ｔ/日				0		
		産施27号	160ｔ/日				0		
		産施53号	120ｔ/日				0		
㈲萬葉	破砕施設	産施31号	10.7t/日			0			
			13.7ｔ/日				675		
		産施32号	280ｔ/日					36,683	
三井住建道路㈱	破砕施設	産施48号	320ｔ/日					14,558	
㈲豊解体工業	破砕施設（移動式）	産施16号	1,080ｔ/日					0	
㈲吉田開発	破砕施設（移動式）	産施50号	680ｔ/日					0	

※汚泥、廃油、廃プラ類を除く　　（平成29年度実績）

第３節　産業廃棄物処理業者

産業廃棄物の収集運搬を業として行おうとする者は、積み下ろしを行う区域を管轄する都道府県知事の許可が必要です。（ただし、政令市内（福岡県の場合、北九州市、福岡市、久留米市、大牟田市）で積み替え保管を行う場合は当該政令市長の許可が必要です。）

また、産業廃棄物の処分を業として行おうとする者は、業を行おうとする区域を管轄する都道府県知事（政令で定める市にあっては市長）の許可が必要です。

１　産業廃棄物処理業許可業者数

市内の収集運搬業許可業者数は、平成 30 年３月 31 日現在 20 業者です。処分業許可業者数は、中間処理が 45 業者、最終処分が１業者です。

表7-3-1　産業廃棄物処理業許可業者数

業　区　分		許可業者数					
		H25	H26	H27	H28	H29	H30
収集運搬業	産業廃棄物	101	57	36	14	14	11
	特別管理産業廃棄物	38	22	15	8	8	9
	計	139	79	51	22	22	20
処分業（中間処理）	産業廃棄物	41	41	39	41	41	42
	特別管理産業廃棄物	3	4	3	3	3	3
	計	44	45	42	44	44	45
処分業（最終処分）	産業廃棄物	1	1	1	1	1	1
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	1

（平成30年３月31日現在）

２　処分業者の処理実績

市内の中間処理業者によって、30.7 万トンの産業廃棄物（内特別管理産業廃棄物 9.2 万トン）が中間処理されました。中間処理の種類別に見ると、がれき類の破砕が 10.3 万トンで最も多く、以下、ばいじんの溶鉱炉製錬 8.2 万トン、汚泥の脱水 2.5 万トン、汚泥の焼却 2.2 万トン、木くずの破砕 1.7 万トンと続いています。

また、最終処分業者によって８千トンの産業廃棄物が最終処分（埋立処分）されました。

表7-3-2 産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量（ｔ）
処理対象物	処理方法	
汚泥	脱水	25,383
	焼却	21,557
	溶鉱炉製錬	3,949
	その他	2,787
廃油	油水分離	7,089
廃酸	中和	128
廃アルカリ	中和	416
廃プラスチック類	圧縮固化	7,519
	水溶化分離	4,676
	破砕	1,421
	圧縮	1,557
	その他	476
木くず	破砕	16,801
	切断	91
	その他	56
ガラスくず等	破砕	6,246
	溶鉱炉製錬	518
	その他	300
鉱さい	破砕	449
	溶鉱炉製錬	3
	選別	4
	セメント固化	372
がれき類	破砕	102,924
	選別	2
ばいじん	セメント固化	485
	溶鉱炉製錬	720
金属くず	破砕	1,064
	切断	687
	その他	248
混合廃棄物	選別	3,902
	圧縮	149
	その他	1,011
その他	その他	2,090
合　　計		215,077

※　汚泥中間処理（脱水）は、脱水をする前の量

（平成29年度実績）

表7-3-3　特別管理産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量（ｔ）
処理対象物	処理方法	
汚泥	溶鉱炉製錬	7,423
廃酸	中和	2,771
廃アルカリ	中和	138
鉱さい	溶鉱炉製錬	256
ばいじん	溶鉱炉製錬	81,023
燃え殻	溶鉱炉製錬	31
感染性廃棄物	溶鉱炉製錬	0
ＰＣＢ	焼却	396
合　　計		92,037

（平成29年度実績）

表7-3-4　産業廃棄物最終処分量

処理対象物	取扱量（ｔ）
汚泥	7,654
がれき類	424
ばいじん	63
廃プラスチック類	40
ガラスくず等	21
木くず	1
合　　計	8,202

（平成29年度実績）